

## 初代王者「金沢スカイヤーズ」昨年に続き3度目の栄冠

「2012専修大学カップ 神奈川県軟式野球選手権大会」の準決勝と決勝、表彰式・閉会式が8月8日、横浜スタジアムで行われた。

準決勝を勝ち上がった金沢スカイヤーズ（横浜市金沢区代表）と太尾パワーズ（横浜市港北区代表）による決勝戦は、7回表に太尾パワーズが1点を返したが、金沢スカイヤーズがリードを守りきり、6対3で勝利。優勝した金沢スカイヤーズ都坂正雄監督は、「この横浜スタジアムに戻ってくることを第一目標にして戦ってきました。打って走れる攻めのチーム作りをしてまいりましたが、優勝は夢のようで大変嬉しいです」と第1回・第6回大会に優勝、今大会で3度目となる優勝の喜びを語った。3位は東柏ヤングリブス（海老名市代表）と榎デビルス（横浜市青葉区代表）。

表彰式では、優勝チームに内野商学部長（大会会長代行）から賞状、優勝旗、優勝カップが、県少年野球連盟会長の鈴木一誠大会副会長から賞状、優勝盾が贈られ、栄誉を称えた。

県野球連盟が選ぶ優秀選手賞には、金沢スカイヤーズの山本三貴選手（6年生）が、敢闘賞には、太尾パワーズの和田春輝選手（6年生）がそれぞれ選ばれ、県野球連盟から表彰された。入賞チームには、監督・コーチを含めた全員に記念のメダルが授与された。

内野商学部長は、「優勝された金沢スカイヤーズの皆さんは立派に戦われました。勝者と紙一重だった太尾パワーズ、3位チームの皆さんが頑張ってくれたお陰でこの大会が盛り上がりました。オリンピックや高校野球ではなかなかメダルが取れないと言われます。54チームの代表としてメダルを受け取ったという気持ちを胸に成長してってください。また、多くの関係者の皆さんに支えられて、大会を無事に終えられたことに感謝します」とあいさつ。鈴木一誠大会副会長のあいさつの後、閉会した。

優勝チームは、8月17日にtvkの昼のワイド番組「ありがとッ！」に出演、喜びを語る。なお、大会の様子は、同26日19時00分よりtvkで2時間50分の特別番組として放送される。



▲熱戦が繰り広げられた横浜スタジアム



▲優勝を喜ぶ選手たち



▲7代目王者に輝いた金沢スカイヤーズ



▲内野大会会長代行より優勝旗が贈られる



▲記念のメダルを授与